

# LIT300 アメリカ文学の諸トピックス

3年 1,2クォーター

担当教員 Nicolangelo Becce, Ph.D.

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 未定

## 授業概要

本講義は、代表的なアメリカ文学の作品、主要作家、時代の趨勢、歴史的文脈を検証することによってアメリカ文学の全体像を俯瞰する。特に、取り上げる文学作品に見られる歴史的、社会的、政治的、経済的問題に焦点を当てる。

また、本講義では、アメリカ文学を、アメリカの誕生、拡張、そして変容を文学的に物語る存在として捉え、分析を行う。そして、アメリカの歴史へのアメリカ文学の文化的な影響を探っていく。

## 到達目標

- 1) 歴史的、文化的、社会的、政治的文脈の中でアメリカ文学のテキストを分析する。
- 2) アメリカ文学と国家のアイデンティティとの関係を理解する。
- 3) 文学的及び文化的テキストが自己、他者、そして共同体の観念を如何に変容し得るかを体験する。
- 4) 適切な理論と方法論を用いて文学作品を解釈すること（様々な解釈の許容や批判的思考の発展をも含む）に習熟する。

## 先修科目

なし

## 教科書・参考資料等

読み物および研究材料はクラス内で配付する。

## 授業の方法

このコースはセミナースタイルで行う。事前に資料を予習してくることを前提として、学生はクラス・ディスカッションで自分自身の意見を述べて授業に貢献することが求められる。また、授業はディスカッションから始め、事前に準備した学生の質問・意見に基づき、簡潔な、インフォーマルな講義を行う。

## 成績評価

講読した資料（1点あるいは複数）についてリスポンスペーパーを作成する。このペーパーにアカデミックレベルは要求されないが、論点が押さえられ、新しい考え（纏まっていなくともよい）が述べられていなくてはならない。また、クラス全体に最低1つは論題を提供することが求められる。学期末には、最終のペーパーを作成し、総体としてのアメリカ、そして授業で扱ったテキストを分析する。学生は全員、作成したペーパーを最後の授業で発表する。

## 成績

30%	授業態度とディスカッションへの貢献
30%	リスポンスペーパー（毎週の課題）
30%	最終のペーパー
10%	最終のペーパーのプレゼンテーション

## 授業スケジュール（変更される場合がある）

### 第1週：イントロダクション

アメリカ文学とアメリカの歴史的背景を紹介する。

### 第2週：ピューリタンの遺産

19世紀と20世紀のアメリカ文学とアメリカ文化に対してピューリタンが与えた影響に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第3週：「アメリカという新世界の人々とは一体何者か」：革命と独立**

アメリカ合衆国の誕生につながった偉大な文学的かつ政治的性格に見られる秩序、合理性、個人の可能性、倫理に関する原則についてクラス・ディスカッションを行う。

**第4週：ロマン主義とアメリカンルネサンス**

アメリカのロマン主義の特徴と、アメリカ文学の黄金時代と定義される「アメリカンルネサンス」に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第5週：南北戦争と社会変化**

南北戦争の余波の中で変容したアメリカ文学と文化の主要な特徴に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第6週：世紀の転換期**

19世紀の終わりから20世紀初頭にかけて、アメリカ文学で主流になる自然主義及びリアリズムという新たな文学的形態に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第7週：モダニズム**

第一次世界大戦前後に興った芸術革命、及びモダニズムの理念に触発された文芸批評の新しい波に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第8週：ロスト・ジェネレーション（第1クォーター終了）**

1920年代の快楽主義的物質主義と道徳的頹廃に対する幻滅を表現するアメリカ文学作品に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第9週：ハーレム・ルネサンス**

1920年代、30年代に米国北東部大都市のアフリカ系アメリカ人コミュニティが生み出した新しい文化芸術的潮流に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第10週：アメリカ文学と戦後**

第二次世界大戦後における豊かで多彩な文学作品に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第11週：ビート・ジェネレーション**

現代の社会制度についての保守的な価値観に対抗して、新たな意義深い実存の発見を狙いとしたアメリカの文学運動に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第12週：ポストモダニズム**

20世紀の文化的なかつ芸術的な作品の目的と方法を再定義し直す運動の主な特徴に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第13週：9.11テロ後（アメリカ文学の最近の傾向）**

現代アメリカの多様なアイデンティティを再分析する出発点である、9月11日のテロ攻撃に対する文学的な反応に関するクラス・ディスカッションを行う。

**第14-15週：最終ペーパーのプレゼンテーション**

**第16週：まとめ（第2クォーター終了）**

授業評価、教員評価

**事前・事後学習**

---

- ・ 予習：参考図書の該当する章を予習してくること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。